

2024年8月2日作成 Ver.1.0

## 《情報公開文書》

## 腹膜透析患者における貧血と腹膜透析離脱の関連に関する検討

## 研究の概要

## 【背景】

腹膜透析は末期腎不全に対する主要な腎代替療法の一つですが、時に腹膜透析を早期に離脱しなければならないことがあります。腹膜透析導入時の貧血は早期の腹膜離脱のリスクですが、導入後に安定した腹膜透析患者さんにおいても貧血が腹膜透析離脱のリスクかは明らかではありません。

## 【目的】

腹膜透析導入後の患者さんにおいて貧血がその後の腹膜透析離脱のリスクになるかを検討します。

## 【意義】

時に腹膜透析離脱は患者さんや医療従事者にとって予想外に起きるものであり、可能な限りリスクを軽減する必要があります。本研究で貧血が腹膜透析離脱のリスクである事が明らかとなれば、離脱回避のための新たな介入因子になり得ます。

## 【方法】

腹膜平衡試験（PET）検査時のヘモグロビン値が11g/dL以上の患者さんと未満の患者さんでその後の腹膜透析の離脱率を比較します。またPET間の尿量の変化率とヘモグロビン関連を解析します。

## 対象となる患者さん

2011年9月1日～2022年12月31日の間に長崎大学病院腎臓内科でPETを複数回行った腹膜透析患者さん

## 研究に用いる情報

## ●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者背景：性別、年齢、BMI、腎不全の原疾患、併存症(高血圧、糖尿病の有無、カールソンスコア)
- 血圧
- 内服薬：降圧薬、抗糖尿病薬、利尿薬

- 臨床検査(血液学的検査・血液生化学検査・尿検査)：Hb、WBC、Plt、TP、Alb、CRP、AST、ALT、 $\gamma$ GTP、LDH、BUN、Cr、eGFR、尿蛋白、尿潜血、尿中赤血球
- PET 検査結果：24 時間尿量、腎 Kt/V、腹膜 Kt/V、D/Pcr、nPCR
- PD 離脱原因

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

**情報の利用開始予定日**

本研究は研究機関長の許可日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。  
ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。  
あらかじめご了承ください。

**研究実施期間**

研究機関長の許可日～2025 年 12 月 31 日

**研究実施体制**

研究責任者

所属：長崎大学病院 腎臓内科  
氏名：西野 友哉  
住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1  
電話：095 (819) 7282

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

**問い合わせ先**

**【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】**

長崎大学病院 腎臓内科 鳥越 健太  
〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号  
電話：095 (819) 7282 FAX 095 (849) 7285

**【ご意見、苦情に関する相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)**

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200  
受付時間 : 月～金 8:30～17:00 (祝・祭日を除く)